

# みえ県議会 だより

NO. 152

平成28年  
(2016年)  
12月4日

発行／三重県議会 編集／三重県議会広聴広報会議

〒514-8570 津市広明町13  
☎059(224)2877 ☎059(229)1931 ✉gikaik@pref.mie.jp  
🌐http://www.pref.mie.lg.jp/KENGIKAI/  
📱http://www.gijiroku.jp/mie/(スマホ版)



▲議会ホームページ



▲スマホ版議会だより



増田神社 伊勢大神楽(桑名市)

## 平成28年 三重県議会定例会 9月定例会議

### 少子化対策に取り組む事業などについて議論

国費を活用して少子化対策に取り組む事業等に伴う平成28年度一般会計補正予算を可決したほか、平成27年度企業会計決算認定議案を認定しました。

#### 本号の主な内容

- 1面 本会議審議の結果  
代表質問
- 2～3面 一般質問、用語解説
- 4面 議員の辞職等について  
平成28年度第1回三重県議会議員勉強会  
インターンシップ実習生の受け入れ  
みえ現場de県議会開催のお知らせ ほか

#### 本会議審議の結果

議案の概要、議員別の賛否等の状況などの審議結果や、請願・意見書の内容は、県議会ホームページの「本会議」からご覧いただけます。

#### 可決した議案

- 平成28年度三重県一般会計補正予算(第3号)

#### 可決した意見書

- 三重県動物愛護推進センター条例案 ほか4件
- 工事請負契約について(四日市北警察署庁舎棟建築工事) ほか11件
- 人事案件(同意)
- 土地利用審査委員の選任につき同意を得るについて

#### 認定した企業会計決算

- 平成27年度三重県水道事業決算
- 平成27年度三重県工業用水道事業決算
- 平成27年度三重県電気事業決算
- 平成27年度三重県病院事業決算

#### 採択した請願

- 義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実を求めることについて
- 教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求めることについて
- 子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わ

る制度の拡充を求めることについて

○防災対策の充実を求めることについて

#### 不採択とした請願

- 国民健康保険広域化にむけて、誰もが安心して払える保険料となるよう求めることについて
- 2017年度に向けて30人学級とゆきとどいた教育を求めることについて

#### 可決した意見書

- 義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実を求める意見書
- 子どもたちの豊かな学びを保障するための教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算の拡充を求める意見書
- 子どもの貧困対策の推進と就学及び修学支援に関する制度の拡充を求める意見書
- 学校における防災対策の充実を求める意見書
- 北朝鮮による日本人拉致問題の早急な解決を求める意見書
- TPP協定の締結等に関する慎重な審議及び我が国の農業と国民生活を守ることを求める意見書
- 地方財政の充実及び強化を求める意見書

#### 可決した決議

- 北朝鮮の地下核実験に抗議する決議

### 代表質問

文中の傍線部分については、3ページに用語解説を掲載しています。

#### 極めて厳しい財政状況における予算編成について

館 直人 議員  
新政みえ  
三重郡選出



#### 問

本県の財政はこれまでにない極めて厳しい状況にあるとの説明がありました。このような状況に至った原因等についてどのように認識していますか。また、平成29年度当初予算の要求基準によれば、政策的経費は同28年度当初予算額の55%以内で要求することとされていますが、防災・減災



#### 答

歳入面では、地方交付税等の減額もあり一般財源収入が微増にとどまる一方、歳出面では、人件費・社会保障関係経費・公債費が増加し財政の硬直化が進んでいるため、「三重県財政の健全化に向けた集中取組(素案)」に基づき、歳出構造の抜本的見直し等を行います。平成29年度当初予算編成に向けては、喫緊の課題や県民ニーズの高いものなど、真に必要な支出については優先度を決めて対応し、メリハリのある予算を編成していきます。

#### 地域医療構想策定に向けた在宅医療の推進を

山本 勝 議員  
自民党  
桑名市・桑名郡選出



#### 問

現在県では、平成37年を見据えた医療需要、病床の必要量等の医療提供体制や、それを実現するための施策等を盛り込むこととしている「地域医療構想」の策定に向け、地域包括ケアシステムの構築、在宅医療の推進を大前提として議論しています。私としても、在宅医療の充実・拡充が極めて重要だと考えています

#### 答

在宅医療体制の整備に必要な相談窓口の設置、在宅医療を支える人材の育成などを基にした一定の枠組みを策定し、各地域の現状を把握した上で市町の体制整備を支援していきます。本年、各市町の現状について聴き取りを行った結果、市町ごとのさまざまな課題が明らかになりました。今後はこうした課題も踏まえ、県民の視点に立って、切れ目のない医療及び介護の提供体制を構築するため、体制整備を進めていきます。



- 三重の自然の魅力を生かした取り組みについて
- 地域の活性化を図る重要幹線道路網の整備について ほか

- 三重県財政の健全化に向けてポストサミットについて ほか

# 一般質問

## 半島振興法による紀伊半島地域の取り組みについて

東 豊議員  
尾鷲市・北牟婁郡選出



**問** 31年前に制定された半島振興法には、地理的条件のため大きな課題を抱えている地域に対して、広域のかつ総合的な対策を実施するところがありすが、同法によるこれまでの紀伊半島地域での取り組みの成果と課題をどのように捉え、今後どのように対応していくつもりですか。また、紀伊半島地域の道路整備の取り組み状況についても聞かせてください。



**答** 県南部地域では、熊野尾鷲道路等の整備が進み、アクセスが向上しましたが、人口減少社会に突入し、地域の産業や集落機能の維持が困難な状況になりつつあります。県では、定住の促進や働く場の確保の取り組みを進めるとともに、紀勢線の全線供用に向けた国等への働きかけや、県管理道路の整備に努めます。

**その他の質問事項**  
○大規模災害対策について  
○芸術文化の振興について  
ほか

## 地域がん登録の有効活用を

今井 智広議員  
公明党  
津市選出



**問** 三重県では平成23年から地域がん登録がスタートしました。本年からは国際基準を満たしたデータがとりまとめられるようになり、県内のがん罹患の現状を正確に把握できる体制が整いつつあります。しかし、地域がん登録から得たさまざまな情報の利用方法等は、まだ明確に定められていません。この貴重な情報をどのように有効活用していくのか、聞かせてください。

**答** 地域がん登録でとりまとめられた報告書は、三重県のがん統計情報として、病院や市町等に情報提供するなどしており、地域の実情に応じたがん予防・早期発見の取り組みに活用されています。また、地域がん登録で得たこれらの情報の活用については、個人情報保護に配慮しつつ、国の動向を注視しながら早期に定めるよう検討を進めます。



**その他の質問事項**  
○河川堆積土砂の発生を抑制する森林整備について  
○海を活用した観光振興について  
ほか

## 知事の政治姿勢について 県民に説明を

三谷 哲央議員  
新政みえ  
桑名市・桑名郡選出



**問** 知事は、7月の参議院議員選挙で特定政党の支持を明言し、特定候補を応援しました。昨年4月の知事選挙では、自民党と公明党に加え、地域政党新政みえなどから幅広く推薦を受け「県民党」を看板に多くの県民の支持を集めたのに、今回の選挙では特定候補の選挙応援に奔走しました。このことについて、知事はどのように県民に説明するのか、お伺いします。



答弁する鈴木知事

**答** 伊勢志摩サミットの開催など、安倍政権が県政にプラスになると考えたからです。一方、「県民党」は、より幅広い立場の県民の皆様と協力して県政を進めたいとの私の姿勢を示したものです。今回のことで、不安や納得できない気持ちを抱かれた方々に、説明が十分でなかったことについて、申し訳なく思っています。

**その他の質問事項**  
○サミットの効果を持続させるために  
○貧困ひとり親家庭支援について  
ほか

## 放課後・休日における学習支援の充実を

津田 健児議員  
自民党  
四日市市選出



**問** 子どもの貧困の連鎖を断ち切るためには、子どもたちの学力保障が必要です。そのため、放課後・休日における学習支援を、地域による偏りがないうように行うことが重要になります。県の取り組みや今後の方向性についてお聞かせください。また、学習支援の推進には人材確保が必要ですが、県が教員養成を担う大学との窓口になってはいかがでしょうか。

**答** 県では、生活困窮家庭や、ひとり親家庭の子どもを対象とした学習支援事業に取り組んでおり、今後は平成31年度までに全市町で支援事業が実施されるよう取り組んでいきます。また、人材確保については、大学や市町と連携し、教員志望の学生を教育アシスタントとして学校に派遣する取り組みを行っています。



**その他の質問事項**  
○三重県精神障がい者アウトリーチ地域支援体制整備事業の対象拡大について  
○若者の投票率向上への取り組みについて  
ほか

## もうかる農業に向けて

藤田 宜三議員  
新政みえ  
鈴鹿市選出



**問** 三重県民調査分析レポートによると、農林水産業に従事する県民の7割の方がもうかっていないと感じています。県では、地域活性化プランを策定するなど、もうかる農業を目指して多くの施策に取り組んできましたが、農家の実感として結果が出ていません。専業農家や認定農家に対する、もうかる農業に向けた取り組みについて、聞かせください。



需要が高い県産小麦

**答** 県では、需要に応じた水田農業の推進、消費者ニーズに応える園芸産地形成の促進、高収益型畜産連携体の育成、新たな商品開発の促進等とともに、地域活性化プラン策定などの支援も行い、一定の成果を得ています。今後はサミットによる県産食材の需要拡大等の効果も生かしつつ、もうかる農業につなげていきます。

**その他の質問事項**  
○三重ファンの拡大  
○地域カード作製の要望  
ほか

## 木質バイオマス発電所への木材供給について

田中 祐治議員  
自民党  
松阪市選出



**問** 県内では、現在3カ所の木質バイオマス発電所が稼働し、木質チップの需要が急速に拡大しています。しかし、県内産の間伐材などでは、木質チップを十分に供給できていません。多気町に4つ目の木質バイオマス発電所ができる計画もあり、さらに、安定供給は困難になるものと危惧しています。現在の状況や今後の対策等について、県の考えを聞かせてください。

**答** 今年度の燃料需給は全体としては充足する見込みですが、県内産の間伐材等の供給は十分ではありません。そのため県では、安定供給に向け、主伐の促進による生産量の拡大や、森林組合・事業者への増産の働きかけ、供給設備の導入等の支援を行っています。また、供給量の増大を図っていきます。



バイオマス発電所

**その他の質問事項**  
○地域医療構想について  
○県内企業の育成に向けた入札制度の整備について  
ほか

## 森林を守る獣害対策と 地域で取り組む山の再生に支援を

中瀬古初美議員  
新政みえ  
松阪市選出



**問** 獣害による森林生態系への影響は深刻であり、土砂災害などにつながる恐れもあります。時代背景が変わったこともあり、林業再生への元年として、多様性がある山づくりに取り組みはどうかと考えます。多様な主体が連携して進める山の再生を次世代に繋ごうとする本気の取り組みが地域の活性化に繋がると思いますが、県はどのように支援するか、聞かせてください。




鹿による剥皮害

**答** 森林被害が深刻な地域で、国、県、市町、猟友会、林業事業者等で構成する協議会を立ち上げ、新たな造林地で重点的な捕獲を実施します。また、多様な主体が一体となって進める山の再生は、県職員も現場に入っ一緒に汗をかき、等々様々な支援を行います。地域全体の魅力や活力を向上させ、地方創生につなげます。

**その他の質問事項**  
○歯科の視点を加えた健康格差対策について  
○里親制度について  
ほか

**伊勢志摩国立公園を  
世界水準のナショナルパークに**

中川 正美 議員  
自民党  
伊勢市選出



**問** 本年11月に70周年を迎える伊勢志摩国立公園は、環境省が進める国立公園満喫プロジェクトの先導的モデルの実施箇所



ナショナルパーク化 キックオフイベント

に選定されました。このプロジェクトは、日本の国立公園を世界水準のナショナルパークにし、インバウンド（訪日外国人旅行）の拡大を目指すために実施されるものです。伊勢志摩国立公園のナショナルパーク化に向けた知事の思いを聞かせてください。

**答** 選定に際し、地域の自然や文化等が高く評価されたことを大変嬉しく思います。9月には地域協議会を立ち上げるとともに、キックオフシンポジウムを開催し、参加者全員が決意を新たにしたところです。伊勢志摩国立公園を世界水準のナショナルパークにするため、関係者の皆さんと全力で取り組んでいきます。

**その他の質問事項**  
○農林水産業の振興について  
○児童養護施設の退所児童への支援について ほか

**人権が大切にされる  
三重をつくるために**

小島 智子 議員  
新政みえ  
桑名市・桑名郡選出



**問** 神奈川県で衝撃的な事件が起きました。ハード整備に加え、すべての人がそのまま存在を認められ生きていく権利があることを確認し、県民一人ひとりが声をかけ手を添えることができるよう後押しすることが必要です。県民全体で人権が大切にされる三重県を作るため、機会を逃さず知事からアピールしていくことが必要だと考えますが、いかがですか。


**答** すべての人の人権が大切にされる社会の実現に向け、まずは身近な地域社会で全ての命は等しく尊いものだという人権尊重意識を定着させ、社会全体へと波及させることが重要です。県民の皆さんが人権尊重の重要性を認識し、人権に配慮した行動ができるよう、さまざまな機会をとらえて訴えかけていきます。



**その他の質問事項**  
○アクティブ・シチズンとしての発露〜映画「クハナ」〜  
○働き方改革〜学校現場にも ほか

**受援力を  
どう高めていくのか**

中村 欣一郎 議員  
自民党  
鳥羽市選出



**問** 熊本地震のボランティアを経験し、防災ボランティアの支援活動を受け入れる「受援力」が大切だと痛感しました。県の地域防災計画等には、要援護者に対して支援や配慮を行う旨を記載していますが、要援護者自身が頼り上手・助けられ上手になることが全体の復旧を早めるはずですが、個人の受援力向上のため、どのように取り組んでいくのかについて聞かせてください。




**答** 地域住民の中には、ボランティアにどのような支援をしてももらえないか、このようなことまで頼んでいいのかなどの戸惑いや不安があり、自らが声を上げられないこともあるかと思えます。地域の「受援力」の向上に関する取り組みにより、要援護者や地域の受援力を高めていきたいと考えています。

**その他の質問事項**  
○モバイルファーマシーの導入  
○伊勢志摩国立公園のナショナルパーク化に向けた景観の向上 ほか

**県のアルコール健康障害対策  
推進計画の策定状況は**

田中 智也 議員  
新政みえ  
四日市市選出



**問** アルコール健康障害による社会的損失は、病気の治療費・労働力の損失・飲酒運転による事故など莫大なものであり、看過できない問題です。平成26年に制定されたアルコール健康障害対策基本法に基づき、本年5月、国は「アルコール健康障害対策推進基本計画」を策定しました。県も推進計画を策定すると思いますが、計画策定の進捗状況を聞かせてください。

**答** 平成28年度中に推進計画を策定することとし、協議の場として幅広い関係者からなる「三重県アルコール健康障害対策推進部会」を設置して、策定を進めることとしています。今後は部会で議論を行うとともに、パブリックコメントにより広く県民の意見も募り、年度内に計画を策定していきます。

**その他の質問事項**  
○伊勢志摩サミット後のこれからの三重県  
○三重県子ども心身発達医療センターについて ほか

**「みえ森と緑の県民税」の  
使用の見直しについて**

前野 和美 議員  
自民党  
津市選出



**問** 平成26年4月より「みえ森と緑の県民税」を導入し、災害に強い森林づくりと、県民全体で森林を支える社会づくりを進めています。税導入から3年目となり、市町等から税の使途の幅を広げて欲しいなどの要望を聞いています。税の見直しは、条例で概ね5年ごとに検討することになっており、見直しに向けての検討準備にかかるべきと考えますが、いかがですか。



みえ森と緑の県民税を活用した森林環境学習

**答** 条例施行後4年目となる平成29年度には、都市部をはじめ幅広い県民の皆さんから、現行の税の使途に対する意見や要望を聴取したいと考えています。現在前倒しをして、市町から意見を伺っているところです。今後、いただいた意見を参考として、より良い税の活用方法について検討していきます。

**その他の質問事項**  
○農業経営の安定・強化及び担い手の確保・育成について  
○看護職の夜勤体制について ほか

**用語解説**

**1 地域包括ケアシステム**

高齢者が重度な要介護状態になっても、住み慣れた自宅や地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けられるように、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される体制のことです。

**2 三重県地域がん登録**

県内において新たに「がん」と診断された患者の状況について、罹患状況・治療の内容・治療または死亡に関する情報等を収集し、データを分析することで、がんの予防や医療の向上につなげるために平成23年度から始めた事業です。

**3 アウトリーチ  
（精神障がい者アウト  
リーチ推進事業）**

アウトリーチとは英語で「手を伸ばすこと」を意味し、さまざまな場合に用いられませんが、精神障がい者アウトリーチ推進事業では、入院という形に頼らず地域で生活することを前提として、在宅精神障がい者等の生活を、保健・医療・福祉の多職種チームによる訪問を中心とした活動によ

**4 アクティブ・シチズン**

三重県総合計画「みえ県民力ビジョン」等のなかで用いられる、社会における自らの役割と責任を自覚し、積極的に社会に参画する住民のことをあらわす言葉です。

**5 受援力**

支援を受け入れる能力のことです。特に災害関係では、被災した地域の人々が何をしてほしいかなどを伝え、受け入れる力のことです。この能力を高めることが早期の復興につながり、地域防災力を高めることにつながります。

**6 モバイルファーマシー**

東日本大震災後の医療救護活動を教訓に開発された、調剤機能を備えた災害時対策医薬品供給車両のことです。医薬品を保冷する冷蔵庫、ポータブル発電機や給水タンク等を備えており、電力や水の途絶えた被災地でも自立的に調剤作業と医薬品の交付等が行えるようになっていきます。

### 会議の開催状況

(会議の様子は、一部を除き県議会ホームページの「議会議中継」からご覧いただけます。)

9月	10月	11月
1日 サミットを契機とした地域の総合力向上調査特別委員会中間報告案について	3日 予算決算常任委員会 企業会計決算審査	1~2日 予算決算常任委員会各分科会 一般会計・特別会計決算審査
8日 選挙区調査特別委員会 県議会議員の選挙区及び定数について(委員間討議)	4日 選挙区調査特別委員会 県議会議員の選挙区及び定数について	14日 予算決算常任委員会 子どもの貧困対策調査特別委員会 議案の審査
15日 本会議 議案18件、認定議案4件上程	5~7日、11日 各常任委員会・分科会 議案の審査、請願の審査、所管事項の調査	21日 本会議(採決・議案上程)
子どもの貧困対策調査特別委員会 論点等の整理、参考人の出席要求	13日 サミットを契機とした地域の総合力向上調査特別委員会 参考人からの意見聴取	25日 本会議(議案質疑)
21日 本会議 決議案1件上程・可決、議案に関する質疑(4人)	17日 本会議 代表質問(2人)	29日 本会議(一般質問)
子どもの貧困対策調査特別委員会 参考人からの意見聴取	19日 本会議 議案18件可決、認定議案4件	
26日 本会議 一般質問(5人)		
28日 本会議 一般質問(4人)		
30日 本会議		

※この他にも、議会運営委員会、代表者会議、全員協議会、議案聴取会、広聴広報会議、議会改革推進会議、総会及び役員会など、さまざまな会議を開催しています。

### 会派別議員数 (9月15日時点)

会派	議員数
新政みえ	21人
自民党	18人
鷹山	3人
公明党	2人
日本共産党	2人
能動	1人
大志	1人
草の根運動みえ	1人

議員の辞職等について  
伊賀市選出の森野真治議員及び四日市市選出の稲垣昭義議員から議員辞職願が提出され、9月15日の本会議で辞職が許可されました。

これに伴い、議会運営委員会の定数が11名から10名に変更となりました。また、議会改革推進会議の副会長に、稲垣議員に代わり藤田宜三議員が就任しました。

なお、定数が2名以上の選挙区で欠員が2名以上となった場合に補欠選挙が行われることとなりますが、両議員の辞職による四日市市・伊賀市選挙区の欠員は、ともに1名のため、補欠選挙は行われません。

### 平成28年度 第1回三重県議会議員勉強会

県政を取り巻く諸課題等の中から、学習の機会を設け、さらに見識を深めるため、9月21日に第1回三重県議会議員勉強会を開催しました。今回は関西国際大学の道中隆教授を講師にお招きし、「子どもの貧困対策」についてご講演いただきました。

道中教授は、大阪府の福祉事務所などでの行政経験もあり、内閣府子どもの貧困対策に関する検討会などの委員を歴任されています。講演では、豊かな経験と豊富な資料・データに基づいて、子どもの貧困の現状や貧困の連鎖を断つための今後の課題などについて貴重なお話をいただきました。

県議会では、議会活動計画の取り組みの一つとして、専門的知識を有する外部有識者等を招いた議員勉強会を開催しています。



### インターシップ実習生の受け入れ

県議会では、議会における政策立案の充実、学生のキャリア形成の支援、地方分権の推進に資する人材の育成などを目的として、平成21年度から、インターシップ実習生を受け入れています。

今年度も、9月5日から16日まで、北海道大学公共政策大学院の学生を実習生として受け入れました。

実習では、県議会の取り組みの聴き取りや議員へのインタビューなどを通じて、県議会や議員の役割等について学んでいただくとともに、実習の成果として、議会改革についての提案を発表していただきました。

今回の実習を通して、実習生から、「住民の意見を県政に反映させる上で、県議会や議員が果たす役割の重要性を理解することができた」などの感想をいただいています。



### 三重県議会ホームページと広報紙「みえ県議会だより」がスマートフォンからも快適にご利用できるようになりました

スマートフォンやタブレット端末から、議会中継だけでなく、三重県議会のホームページとこの「みえ県議会だより」も快適にご覧いただけるようになりました。1ページにあるQRコードから、ぜひアクセスしてみてください。



※「メニュー」ページは、従来の表示方法に変更できません。「メニュー」から「PC表示」を選択してください。

### スマホ版「みえ県議会だより」

スマホ版「みえ県議会だより」の運用を開始しました。スマホからの閲覧に最適化してご提供いたしますので、ぜひご利用ください。

ご利用方法



最新号以外をご覧になる場合は、こちらから読みたい号を選択してください

①トップページから、読みたい号の「みえ県議会だより」の画像(サムネイル)を選択します。

②記事ごとにページがわかれていくので、読みたい記事を選択します。右上の「目次」ボタンを押すと表示される「目次」からも記事を選択できます。

### スマホ版「みえ県議会だより」の特長

- 代表・一般質問等は、記事から直接その録音中継をご覧いただけます。
- 記事中の青文字になってる単語を選択すると、ホームページで詳細をご覧いただけます。
- 記事に挿入されている写真は、写真下の「画像をフルサイズで見る」を選択すると、拡大してご覧いただけます。

### みえ現場de県議会 女性活躍の推進と中小企業の現場で

県議会では、県政の重要課題について関係者等からご意見を伺う「みえ現場de県議会」を開催しています。今年度は「女性活躍の推進と中小企業の現場で」をテーマに、女性経営者等から、女性が働く上での課題や県に期待すること等について、ご意見を伺います。

日時 平成29年1月18日(水) 13時30分～15時30分  
場所 鈴鹿市文化会館 さつきプラザ

参加者 県内の中小企業の女性経営者等(3人程度)  
一般公募の女性参加者(3人程度)

県議会議員(正副議長、広聴広報会議委員等)

○傍聴は自由(事前申し込み不要)です。  
○公募などの詳細は三重県議会ホームページをご覧ください。

### みえ県議会出前講座のご案内

県議会をより身近に感じていただき、将来の住民自治を担う県民としての意識を育んでいただくことを目的に、「みえ県議会出前講座」を実施しています。

県内の小中学校や高等学校などに議員が出向き、「県議会の役割」等をテーマに授業を行い、皆さんからの質問にお答えします。昨年度は小学校や特別支援学校など、全8校で実施しました。

みえ県議会出前講座は、学校からの申し込みを受けて実施しています。詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。申し込みをお待ちしています。



### 三重県議会定例会の日程

平成28年12月から平成29年2月までの日程は次のとおりです。

- 12月 1日、5日 本会議(一般質問) TV
- 7~8日 予算決算常任委員会
- 9日、12日~14日 各常任委員会及び分科会
- 19日 予算決算常任委員会
- 20日 代表者会議、議会運営委員会
- 21日 本会議(採決、閉会)
- 1月 17日 本会議(開会)
- 2月 2日 代表者会議
- 9日 議会運営委員会
- 13日 全員協議会
- 15日 本会議(議案上程)
- 16日 議案聴取会
- 22日 本会議(代表質問、質疑) TV
- 24、28日 本会議(一般質問) TV

この日程は、平成28年11月4日現在の予定です。最新の情報は、ホームページから「議会の日程」をご確認ください。

TV テレビ中継    インターネット中継

三重テレビのデータ放送でも議会日程をお知らせしています。

閲覧方法  
三重テレビ視聴中にdボタンを押す>  
「暮らしの便利帳」を選択>「県広報/県議会広報」を選択>  
【議会】議会日程を選択